

2018年10月17日 第44期 No. 7-507

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

気候の変動の大きさ、次々に襲う巨大台風。私たちの生活もかき乱されている気がします。これが温暖化の影響だとしたら、今後も続くのでしょうか。対策をもっと真剣に考えないといけませんね。お元気でしょうか？

### 11月定例会

日時 11月5日(月) 13:30~16:00  
会場 天王台北近隣センター 和室  
定例勉強会 男女共同参画講演会から  
場所が変更です。お間違いなく。

### 12月定例会予告

日時 12月3日(月) 13:30~16:00  
会場 我孫子南近隣センター 8F調理室  
定例勉強会 未定

#### 我孫子市女性活躍推進プロモーション事業

#### 「ピンチから未来への道づくり」

#### 被災地で活躍する新妻さんと考える

日時 10月28日(日) 14:00~16:00  
会場 アビスタホール 先着100人  
講師 新妻香織さん  
申込必要 チラシ 参照  
昨年の「東北を忘れない旅NO. 5」で、福島県へ行った時、会員の寺田久美子さんの高校の恩師 新妻先生が私たちの宿に来てくださり、3.11の時のご自身の体験を話してくださいました。その時、娘さん(香織さん)が車でお父様をお連れ下さり、原発のこと、津波のこと、その後の社会活動のことをお話くださいました。

そのご縁で、今回のご講演をお願いすることになりました。是非多くの方のご参加をお願いします。

## あなたは大丈夫？

### だまされ度チェック

残念ながら、オレオレ詐欺を初めとする詐欺事件は後を絶ちません。テレビでも、認知症になりかかっている人がだまされ易いと言っています。消費者庁のホームページから引用しました。消費者の会の方達は大丈夫と思いますが、お友達にもお知らせください。

私はだまされないと思っているあなた、本当に大丈夫？

### だまされやすさ簡単診断！

- ①自分のまわりにあまり悪い人はいないと思う
  - ②相手に悪いので人の話を一生懸命聞く方だ
  - ③たまたま運の悪い人がトラブルにあうのだと思う
  - ④知人から「効いた」「良かった」と聞くと、やってみようと思う
  - ⑤有名人や肩書きのある人の言うことはつい信用してしまう
  - ⑥人からすすめられると断れない方だ
  - ⑦迷惑をかけたくないので家族にも黙っていることがある
  - ⑧実際、身近に相談できる人があまりいない
  - ⑨しっかり者だと思われたい  
如何ですか？
- ①②③にあてはまる人は、トラブルに対して危機意識がうすい傾向  
④⑤⑥にあてはまる人は、だまされているのに気がつかない傾向  
⑦⑧⑨にあてはまる人は、だまされたとき一人で抱え込んでしまう傾向



## 高齢社会への対応を探るイベント終了

10月13日(土) 13:30~16:00

参加者は例年より少なかったものの、中身の濃い講演でしたので、少し報告します。

講師 小竹雅子さん (おだけまさこ)

市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰  
テーマ 「まだ変わる!介護保険」

小竹さんはまず、日本の人口数、高齢化率などを示し、90歳以上が200万人を超えたこと、65才の人は平均余命が20年以上ある、「健康寿命」は「平均寿命」より短い、75歳以上になると不具合の人が多くなるという全体のことから話されました。また、生活保護世帯の半数は、高齢所帯。一方で「振込め詐欺」の被害者は8割が高齢者ですと。

### 認知症との関連

介護が必要になる理由は、認知症がトップになり18.0%、脳血管疾患16.6%高齢による衰弱13.3%骨折・転倒12.1%関節疾患10.2%心臓病4.6%(2016年)

認知症で介護保険を利用している人は280万人、MC I (正常と認知症の中間の人が380万人います。

介護保険の利用者で「要支援1」の人は関節疾患(リュウマチ等)が20%、「要支援2」は骨折・転倒18%「要介護1から4」までの利用者の1位は認知症、要介護5の1位は脳血管疾患、2位は認知症です。

### 居住形態の変化

介護が必要な高齢世帯は、単独世帯が2001年は15.7%でしたが、2016年には28.9%と、世の中の居住形態が変わっています。

介護保険が出来るまでは、2世代同居か3世代同居がほとんどでした。そして、親の介護が必要になれば、嫁の立場の人が介護を担っていました。今は女性も外で働く時代。

### 高齢者への虐待

高齢者虐待の4割は息子、夫が2割。毎週のように「介護殺人」が起きています。制度を良く知って利用することが大切です。

この他、介護労働者の問題等を詳しく説明された後で、小竹さんは、認定を受けた人は「サービスを利用する権利」があると改めて話し、介護保険は、始まってからいろいろ変わってきた(自助や共助、予防、総合事業が入れられた等)が、これからも国は「お金が足りなくなった」という理由で大きく変わって行くことを話されました。

政府や財政審議会が検討していること。

- ・高齢者医療制度や介護保険において、所得のみならず資産の保有状況を適切に評価しつつ、「能力」に応じた負担を求めることを検討する。
- ・年金受給者の就労が増加する中、医療・介護における「現役並み所得」の判断基準を現役との均衡の観点から見直しを検討する。
- ・8月から利用者負担が3割に。
- ・12月から「生活援助」のケアプランは、地域会議でチェックする。

### 税金の使い方

小竹さんは説明をしながら、税金の使い道にもっと国民が厳しい判断をしないと、介護保険制度は益々、利用者負担が多くなると思う、と何回もおっしゃいました。

### 以下は加藤さんの感想

今回、目からうろこだったのは総合事業を行うに当たって、医療・介護の連携となったのは介護保険事業から医療に予算が回されるということです。収めた人たちに介護保険がすべて下りていたものが、変ったことによって予防や医療にも回るとのこと。私は医療は医療分野から費用が出されるものと思っていましたが、どうやらそうではないようです。

総合事業になったことでいろいろなものが介護保険に入り込んできました。介護保険のお金にきちんと目を向けないと何が何だか分からなくなりませぬ。 加藤マリ子

2000年に発行した「戦争の記憶」を、小学校の先生から欲しいと電話がありました。持ち物の整理をする時、これは捨てないで、和田に連絡して下さい。いただきに行きます。急に寒くなりました。風邪を引かないで!!